

(条例) 様式第2 (第9条関係)

# 政 務 活 動 費 成 果 報 告 書

6 年 1 1 月 1 9 日

犬 山 市 議 会

議 長 柴 田 浩 行 様

議員名 玉置ゆきや

下記のとおり、会派視察の成果を報告いたします。

|           |                                                                                                                                                                                                                                 |
|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 年 月 日 | 6 年 1 1 月 1 4 日 (木) ~ 6 年 1 1 月 1 5 日 (金)<br>( 1 泊 2 日 )                                                                                                                                                                        |
| (2) 場 所   | 真岡市役所                                                                                                                                                                                                                           |
| (3) 形 態   | 会派 (創犬会 ) : その他 ( )                                                                                                                                                                                                             |
| (4) 内 容   | 真岡市<br>視察項目 職員 D X 人材確保・育成について<br>近年多様化する市民ニーズへの対応、職員の働き方改革<br>さらには感染症拡大による社会経済活動の制限によっ<br>て生活が大きく変わる中、A I などの急速に発展する<br>デジタル技術を市役所内で活用し、アナログとデジタル<br>を融合して「ハイフレックス市役所」を実現するため<br>職員の手上げ方式で、メンバーを募り通常の業務をこな<br>しながらデジタル化を進めていた。 |
| (5) 成果・提言 | 当市は外部の人材を投与して、D Xを進める計画のよう<br>だが、先ずは現状の仕事を把握、分析することが必要だ<br>と思われる。真岡市でも一番取り組み安かったのは、会<br>計業務だと言われていたので、当市でも会計処理のデジ<br>タルを進めていくべきと考える。外部人材に頼るのでは<br>なく職員で中心になるチーム作りをしてデジタル戦略<br>を進め市民にとっても分かり易く使いやすい、システム<br>の確立をしてほしい。           |



(条例) 様式第 2 (第 9 条関係)

## 政 務 活 動 費 成 果 報 告 書

6 年 1 1 月 1 9 日

犬 山 市 議 会

議 長 柴 田 浩 行 様

議員名 玉置ゆきや

下記のとおり、会派視察の成果を報告いたします。

|           |                                                          |
|-----------|----------------------------------------------------------|
| (1) 年 月 日 | 6 年 1 1 月 1 4 日 (木) ～ 6 年 1 1 月 1 5 日 (金)<br>( 1 泊 2 日 ) |
| (2) 場 所   | 大郷町役場                                                    |
| (3) 形 態   | 会派 ( 創犬会 ) : その他 ( )                                     |
| (4) 内 容   | 大郷町                                                      |
|           | 視察項目 衛星を活用した水道管路の漏水調査業務について                              |
|           | 以前より町内の有収率が宮城県平均を下回っていた。                                 |
|           | 管路状況は約 7 0 % が老朽化しており水道管の種類も                             |
|           | ダクタイル鋳鉄管や塩化ビニル管、加えて石綿セメント                                |
|           | 管がある。石綿セメント管は強度が弱く破損率が他の管                                |
|           | より高いため漏水防止や耐震化の観点から更新が急務                                 |
|           | となっている。宮城県が中心となり 1 1 市町で人口衛星                             |
| (5) 成果・提言 | を活用し漏水調査を広域で取り組んでいる。                                     |
|           | 当市も、以前に長者町で水道管の老朽化により事故が                                 |
|           | 発生しており布設替えの計画を前倒ししてでも管の更                                 |
|           | 新を行うように指摘してきた。                                           |
|           | 水道事業者との意見交換でも、今後事業を継続困難な                                 |
|           | 事業所も散見されるため、前倒しして布設替えを進めて                                |
|           | も、出来ない可能性もあると言われている。                                     |
|           | そういった、昨今の社会状況も鑑みると、人工衛星を                                 |
| (5) 成果・提言 | 使って広域で漏水調査を進めることは、有効であると                                 |
|           | 考える。国からの補助メニューもあるとのことなので                                 |
| (5) 成果・提言 | 担当課にも研究してもらい、広域で事業を進めるべき                                 |
|           |                                                          |